

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
康生周辺地区

平成22年12月

愛知県岡崎市

1.数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4- 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み 確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	図書館入館者数	人/年度	432,722	770,000	1,413,877	確定 見込み		あり なし	1,593,206	H22年4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	中心市街地への移転、図書館機能の向上及び他の諸施設との連携により、利便性が向上し入館者数が増加した。	
指標2	小売年間商品販売額	万円	3,027,279	3,030,000	1,939,061	確定 見込み	×	あり なし	-	平成22年商業統計調査の廃止により確定値は計測不能		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	販売額・店舗数は減少傾向であったが、整備効果により中心市街地への来街者は増加した。	
指標3	岡崎城入場者数	人/年度	124,847	131,000	151,210	確定 見込み		あり なし	170,728	H22年4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	歴史的・文化価値の向上、アクセス・回遊性の向上により入場者数が増加した。	
指標4	バス乗降者数	人/日	3,460	3,650	3,607	確定 見込み		あり なし	2,639	H22年5月	×	全体的なバス利用者の減少や大型商業施設の撤退による	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	利用目的となる施設の撤退など複合的な要因により目標値と比べて低い水準となっている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4- その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み 確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	大型店年間販売額	万円	938,017	/	518,989	確定 見込み	/	/	-	-	/	大規模撤退(H21年末)により従前値との比較が困難となった	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	大型店は撤退したものの、整備効果により中心市街地への来街者は増加した。
その他の数値指標2	歩行者交通量	人	10,521	/	22,074	確定 見込み	/	/	/	/	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3	来街者の滞在予定時間	%	57.4	/	57.5	確定 見込み	/	/	/	/	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3	来街者の中心市街地を訪れる回数	%	70.9	/	72.0	確定 見込み	/	/	/	/	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式 4- 今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式 5- に記載した 今後のまちづくり方策 (事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
成果を持続させるために 行う方策	魅力ある都市空間の維持に向けて、市民主導による プロムナードや広場などの賑わいづくり、維持管理の推 進	中心市街地整備推進機構や市等の主催によるイベントやコン サートの開催 定期的な朝市「土土市」 プロムナードや広場を活用したイベント・コンサート	月3～4回のイベント開催により賑わいづくりに 貢献	財源の確保、事業の継続 これからのまちづくりを考える市民主導の会議「康生NEXT会議」の 開催
	地域交流センター(図書館交流プラザ)を中心とした周 辺地域の活性化、多様な交流の促進	サポーター主体による「りぶらまつり」を実施 サポーターによる映画上映会開催、市街地マップ作成 推進機構が協力・支援するイベントの実施	通常土日平均の約2倍の来館者があり、周辺 地域の活性化および多様な交流の促進に貢献 多様な市民団体の関与により、交流が活発化 中心市街地におけるイベント情報、店舗情報を 発信	将来的に、りぶらまつりをりぶらサポータープロジェクトの自主財源 による開催に移行 まちづくりに携わる人材の育成(ひとづくり)
改善策	岡崎らしい歴史的魅力の向上	二十七曲り活用事業 二十七曲りめぐりのマップの作成 ルート案内標柱「金のわらし」等の整備 小学校の総合学習の場として活用 岡崎観光レンタサイクル事業 景観計画の策定に伴う啓発事業の実施 景観意識向上実験(光ビスタライン～サーチライト照射に よる歴史的眺望景観の視覚化) おかざき風景まちづくり市民対話集会(ラウンドテーブル / 図書館交流プラザ「りぶら」)	二十七曲りのわかりやすいまち歩きに貢献 歴史資源の確認と認知に貢献 快適な自転車による回遊観光に貢献 市民共通の資産として次世代へ継承する景観 を、広く内外に発信するとともに誇りと愛着を育む 意識向上に貢献	財源の確保、事業の継続 二十七曲り沿線の歴史資源の掘り起こしと魅力向上 良好な景観形成のための規制 誘導内容の作成 岡崎城を含む中心市街地における良好な景観形成の方策 市民及び地域主体の取り組み促進
	中心市街地の活性化	りぶらサポータープロジェクトの企画運営によるプロムナード活 用事業の実施 推進機構による「中心市街地における店舗出店実験事業」 商工会議所共催による二十七曲り「食べ歩き」ツアーの開催 商店有志によるまちゼミの実施	多様な部門のイベント開催により賑わいづくりに 貢献 事業に参加した2店舗が中心市街地内で新規 開店した まちの魅力、商店の情報を発信し、来街者を誘 発	官民連携したイベント等を実施し、財源不足の解消や広報力の増 強を図り、参加者の増加を図る 単発のイベントによる来街者だけではなく日常的な賑わいづくりに の取り組みが必要 商業の活性化を実感できる仕組みづくり 事業の継続 空き店舗の有効活用
	バスの利便性の向上	公共交通マップの配布 まちバスのルート及びダイヤの見直し	公共交通利用者の利便性向上に貢献	バス停の上屋設置など利用環境の整備 自動車から公共交通を移動手段とする意識変化の実現
まちづくりの目標を達成するた めの改善策 残された課題 新たな課題への 対応策 その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式 5- から転記

様式 4- フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
個店の魅力アップ、経営能力向上とまちづくりを見据え た商店街づくり	中心市街地のやる気ある商業者が集まり、大型SCとは違った魅力ある商店づくりを 学ぶ商人塾を開催。	平成22年～	単に個店の経営改善を勉強するのではなく、まちづくり・商店街の活性化に繋が る人材養成をめざし、今後2期生、3期生へと継続させる必要がある。共通意識を もつ仲間づくりを続けることで、点から線、線から面へと広がる商店街形成をめざ し、民間主導の街の回遊性、賑やかさの創出を図る。